

2024 そうじゃ吉備路マラソン

学生231人初のボランティア



当日の業務を確認するノートルダム清心女子大の学生ボランティア

市と連携協定7大学

総社市と包括連携協定を結んでいる岡山県内7大学の学生計231人がボランティアとして初めて参加し、大会運営をサポートする。学生たちは「また走りたいたい」と思ってもらえる大会にしようと思気込んでいる。

7大学は岡山県立、ノートルダム清心女子、環太平洋、川崎医療福祉、倉敷芸術科学、吉備国際、岡山商科。選手への受け付けや吹奏楽演奏、ゴール後の誘導など幅広い業務を分担する。コース上の給水所では、県立大の学生が総社市服部地区婦人会の指導で手作りした地元産セロリの漬物を配る新企画もある。

大会事務局は8日、37人が参加するノートルダム清心女子大(岡山市)で説明会を開催。完走証の発行や記録計測用ICタグの回収など担当する業務を説明した。児童学科1年岡彩衣さん(20)は「総社市三須は「ランナーが気持ち良く走れるよう笑顔で接したい」と話した。

(山内悠記子)